

1 情報マネジメント推進計画（案）について

（説明者：企画部長）

（1） 主な意見等

- 議会への説明は概要版で行うのか。
→ 概要版で説明する。パブリックコメントでは、配布用は概要版、備え付けの閲覧用として本編も用意する。
- 計画の中に掲載されている14の取り組みの中で、基本目標ごとに2～3の「重点取り組み」が選択されているが、どのようなものか。
→ 検討部会で、どのように優先順位をつけるかといったことが議論された結果、設けられたものである。14の取り組みの内容を個別に分析し、「重点取り組み」として示したものである。
- 基本目標に掲げる「市民が利便性を実感できる行政サービス」の実現のための施策として「行政の透明性拡大と市民ニーズに対応した情報提供の充実（情報提供）」とある。横浜市では、情報選別や基準などを一元化し、膨大な量の情報提供がホームページ上で行われており、「透明性の拡大」が見える形で行われている。本市でも提供基準の一元化など、この施策に併せた具体的な動きが始まっているのか。
→ この施策は、情報政策担当が情報提供の充実に向けた具体的事務事業を進めていくというよりも、本市自らが積極的に情報提供を行う姿勢作りだと考えている。情報提供する部門、情報を利用する部門、双方が最適な形となるよう、情報政策担当によりマネジメントが行われるといったものである。
- 実際にこれら施策を具現化するための具体策については、検討から実施まで所管する部署が担うということか。
→ 具現化策について、ある程度の構想は持っているが、実施計画との整合性など、不確定な要素もあるため、本編でもイメージの表現に留め、概要版には掲載していない。実際に進めていく場合には、CIO（情報統括責任者）を中心とした推進体制とし、計画の目標、施策単位で部会を作り具体化を進める。役割分担については、ICT（情報通信技術）の仕組みづくりを情報政策担当が担う。また、全庁的なプロジェクトなどについては、事業課との調整や一部財源の確保なども担うことになると認識している。
- 計画スタートに向けて、即時、事業を開始するは別にしても、何がどのように実施されていくのか、より明確にできるように準備してほしい。
→ 検討を進めていく。

（2） 結 果

原案の通り承認する。

以 上